

若い世代と地域がつながる社会教育の推進について

意見書

令和8年5月

甲府市社会教育委員の会議

## 若い世代と地域がつながる社会教育の推進について

### 1. はじめに

本市では、人口減少と高齢化が進行しており、それに伴い地域活動の担い手不足やコミュニティの希薄化が懸念されています。将来的に自治会活動などの共助機能をどのように維持していくかは、重要な課題となっています。

甲府市人口ビジョン(2020年改訂版)の推計によると、総人口は 2015 年の 193,125 人から、2040 年には 154,958 人、2060 年には 120,614 人へと減少する見込みです。

あわせて、生産年齢人口は 59.8%から 50.1%へ減少し、老年人口は 28.1%から 39.8%へ増加すると予測されています。

今後は人口の約 4 割が高齢者となる社会の到来が見込まれており、地域を支える世代の減少は避けられません。

このような状況を踏まえ、将来に向けた持続可能な地域づくりの在り方を検討する必要があります。

### 2. 地域を取り巻く現状

現在、地域コミュニティ活動の多くは中高年層が中心となって担っており、活動メンバーの固定化や高齢化が進んでいます。参加者の減少や後継リーダーや担い手の不足といった声も多く、組織の活性化が求められています。

### 3. 若い世代が地域活動に参加する意義

組織の活性化を図るためには、多くの若い世代が地域活動に参加し、世代間交流を進めるなかで、活動の継続性を高めることが重要となります。

若い世代が地域活動に参加することで、柔軟な発想や新しい視点を取り入れ、地域活動に新たな活力を生み出すことができ、次のような効果も期待できます。

- 地域住民同士のつながりが深まる
- 体験や経験を通して、参加者のスキルアップや地域活動への理解が深まる
- 仲間づくりや相互扶助、地域貢献意識の醸成につながる

#### 4. 若い世代に期待される活動の例

そこで、若い世代が地域社会での活動参加が促進された場合、どんな活動に力を発揮してほしいか、考察しました

地域活動やコミュニティ団体など、様々な立場で活動を担っている本委員会の意見としては、次のような活動を期待する声が挙がりました。

- 地域の祭りやイベントへの参加・企画補助
- 生涯学習講座や放課後支援活動への協力
- 環境美化活動やボランティア活動
- 防災訓練や消防団活動への参加
- 体験型ワークショップや特産品を活用したイベントの企画

このように、地域の現状を理解していくためにも、日常の団体活動のみならず、さまざまな地域活動に参加していくことが求められております。

#### 5. 若い世代の参加を阻む課題

では、若い世代の社会参加を促すためにはどんな課題が存在するのか、また、課題解決に向けてはどのような取組を図る必要があるかを検討しました。

その結果、次のような課題があることがわかりました。

1. 「いきなり大役を押しつけられるのでは」と不安になる
2. 仕事・学業・部活などと両立しづらい
3. 活動の「おもしろさ」や「メリット」が伝わってこない
4. 情報が届かず、「どう参加したらいいかわからない」
5. 声をかけてくれる・つないでくれる大人(キーパーソン)が少ない
6. 「自分の意見なんて聞いてもらえなさそう」と感じる

こうした課題や不安を丁寧に把握・共有し、一つひとつ解消していくことが重要です。

#### 6. 課題解決に向けた方向性と社会教育の役割

そこで、こうした課題を解決し、若い世代と地域社会がつながる社会を目指していくためには、「若い世代」と「地域」の双方が、互いの価値観や生活環境の違いを理解し、認識のギャップを乗り越えていくことが不可欠です。

こうしたことから、本委員会では、地域における課題解決の取組として、次のような方向性を目指していくことを確認しました。

#### 取組1（役割や負担の明確化）

まずは、年齢の段階に応じた役割分担の明確化です。

地域においては、若者が企画段階から参加できる仕組みづくりや、「責任者は60代以上、リーダーは40～50代、実務は30代」など、世代に応じた役割分担や事務負担の軽減が必要となります。

#### 取組2（時間的な課題の解消）

次に、日常的に子育てや就労に時間を縛られている若い世代の都合に寄り添った活動を提案することです。土日のイベント開催やオンラインの活用など参加しやすい環境を整える必要があります

#### 取組3（情報発信や活動内容周知の強化）

また、活動の内容や参加方法をわかりやすく届けることが、若い世代の参加者増加に繋がると考えられます。興味のある参加募集の周知方法やデザイン等を検討することや SNS 等による情報発信を強化し、多くの人に活動を知っていただくことも重要です。

#### 取組4（メリットの提示と地域愛の醸成）

また、地域での繋がりを持ち、社会に関わっていくことで、多くの仲間や友情が生まれ、自身も貴重な体験が積めるなど、若い世代にとってどんなメリットがあるのか示すことや関わるべき地域に対する愛情を育むことが大切です。

#### 取組5（活動へのきっかけづくり）

更に、最も大切なことは、まずは気軽に関わることのできる、負担が少ない「小さな入口」を増やすことです。若い世代が参加したいと思える企画や、参加したことで趣味の幅を広げる、スキルアップが見込める取組み、地場産業や地域行事等の体験型の活動を取り入れることで、特別な経験を届けることもできます。

これにより、「継続的な地域活動への参加」のきっかけになると考えており、そのための取組みを充実させる必要があります。

このように、若い世代の地域参加には様々な課題が存在する一方で、地域においても若い世代と繋がり、関りを広げていくための工夫や受け入れ体制の整備が求められています。

こうした認識を共有する中で、その有効な手段として、本委員会は、「社会教育」の果たす大きな役割に着目しています。

公民館講座や体験活動などの学習機会を活用することで、地域課題を学びながら自然に地域と関わる機会を生み出すことができます。

社会教育は、学びを通じて人と地域を繋ぐきっかけとなり、若い世代にとって地域参加への「入口」となる役割を担うことができます。

今後は、社会教育の視点を生かしながら、若い世代が地域と関わる機会の創出や環境づくりを進めていくことが求められます。

## 7. 具体的なアクションプラン

そこで、本委員会では、若い世代の地域参加を促進するため、次の取組を提案します。

### 【直ぐに取り組むべきプラン】

(1)「多世代で学ぶ、防災サバイバル教室」の開催 →【※取組5への対応】

#### ■目的

防災に関する実践的な知識・技能を身につけ、地域防災力の向上を図るとともに、「防災」という共通のテーマを通じて、多世代交流を促進する。

#### ■イメージ

ガールスカウトの協力を得て、親子・学生・シニアと一緒に「体験型防災イベント」に参加する。

#### ■こんなことを学びます

- ・「もしもの時に役立つ防災スキルを、みんなで楽しく。」
- ・「ロープワークから防災クラフトまで。遊びながら“生きる力”を身につけよう」
- ・「防災サバイバル体験 DAY」
- ・「親子&学生歓迎！防災クラフトワークショップ」

### 【活動を継続・拡充していくべきプラン】

(1) 公共施設における「大人のパソコン・スマホ教室」の開催 →【※取組3への対応】

#### ■目的

地域活動の事務効率化・情報共有の円滑化。公共施設で開催することで施設の周知や利用促進に繋げる。

#### ■イメージ

地域活動や仕事・就活にも役立つ“実務スキル”の習得として参加しやすくする。複数回開催することで、仕事や日常の活動に活かすことができる内容とする

#### ■こんなことを学びます

- ・「LINE・エクセル、いまさら聞けないを“いま”聞こう。」
- ・「チラシづくり・申込フォームづくり、地域活動で使える IT 講座」

- ・「ゼロから学べる PC & スマホスキル講座」
- ・「地域イベントのチラシを一緒につくろう！ワード・エクセル入門」
- ・「“使える LINE 活用術”講座(連絡・告知・グループ運営)」

(2)地域の伝統・文化の再発見と発信 ➡ 【※取組4への対応】

■目的

教育委員会で行っている地域文化や歴史を学ぶ講座を活用しながら、多くの若い世代の方々に参加を促し、地域における愛着を深める。

■イメージ

講座やまち歩きで知ったことを、SNS で発信したり、動画やフォトコンテストにしたりする流れをセットにする。

■こんなことを学びます

- ・「地元って、実はすごい。」
- ・「甲府ローカルの魅力再発見ツアー」
- ・「天津司舞・右左口浄瑠璃人形を“見て・知って・発信する”講座」
- ・「甲府遺産めぐりウォーク(羽黒大宮神社・姫見塚歌 など)」
- ・「歴史×映えスポットを巡る“歴史探訪+SNS 発信”企画」

(3)出前講座による地域リーダー支援 ➡ 【※取組1への対応】

■目的

出前講座の講師を派遣する事によって、コミュニティ活動を直接担っているリーダーのスキルアップや学習活動をサポートする。

■イメージ

「ちょっと手伝っている若手」も、“将来のリーダー候補”として参加しやすい位置づけにする。

■こんなことを学びます

- ・「地域の“頼られ力”をアップする出前講座」
- ・「明日の地域リーダーのためのスキルアップセミナー」
- ・「地域リーダー入門セミナー(出前版)」
- ・「介護予防・防災・ゴミ減量・健康法が一度に学べる“まちのプロ講座”」
- ・「生活サポートボランティア向けスキルアップ出前講座」

(4)公民館における地域連携活動の奨励 ➡ 【※取組2 ※取組5への対応】

■目的

最も身近な社会教育活動の拠点施設である公民館を地域が効果的に活用し、若い世代の興味と地域連携を意識した事業を奨励又は実施することで、多世代の社

会教育参加を図る。

■イメージ

「公民館＝勉強だけの場所」ではなく、「趣味」や「推し活」にもつながる“ゆるい出合いの場”として打ち出す。また、土日や夜間など若い世代が参加しやすいイベントを企画する。

■こんなことを学びます

- ・「公民館が、まちの“好き”を持ち寄る場所になる」
- ・「週末、公民館でちょっとやってみる」
- ・「防災炊き出しフェス(非常食アレンジ・かまど体験)」
- ・「親子 DIY・クラフト& 工作ワークショップ」
- ・「趣味シェア交流会(ボードゲーム・ハンドメイド・写真など)」
- ・「地場産業体験 DAY(宝石研磨体験・ものづくり体験など)」

【若い世代のキャリア形成に結び付けるためのプラン】

(1)「あつ活サポート事業」の活用 → 【※取組1 ※取組4への対応】

■目的

自治会運営等をサポートする「あつ活サポート事業」を活用してイベントを実施することで、事業負担の軽減が図られるとともに、若い世代にとっては、企業目線でのノウハウや新たな発想を学ぶ機会を得られる。

■イメージ

音楽・スポーツ・マルシェ・e スポーツなど、若者の興味からスタートして地域とつながりイベントをイメージさせる。

■こんなことを学びます

- ・「若者企画×地域コラボチャレンジ(あつ活サポート活用)」
- ・「若者目線で“やってみたい”をカタチにする仕組み」
- ・「“やってみたい！”を応援する地域プロジェクト支援」
- ・「企業×自治会×若者でつくる、新しい地域イベント」

(2)若者のスキルアップに繋がる機会の創出 → 【※取組4への対応】

■目的

地域の中で、デジタル技術やマナー、接客、ビジネス英会話等のスキルを持った方の協力を得ながら、若い世代のスキルアップに繋がる学習会を開催し、若い世代が地域と関わりを持って学んでいくことを促進する。

■イメージ

地域や活動団体で情報を集める中、特殊技術やスキルを伝授できる人材を見出し、

若い世代が学び、就業などのスキルアップに繋がる機会を創出する。

■こんなことを学びます

- ・若者の就業支援「ビジネスマナー」を身に付けよう
- ・みんなで学ぼう「初級者 Web デザイン教室」

## 8. まとめ

地域の絆を深め、持続可能なコミュニティを形成していくためには、若い世代の参画を着実に促していくことが必要です。

そのためには、若い世代の関心の有無を問うのではなく、参加のきっかけや関わりやすい環境を整えていく視点が重要であるとの認識を共有いたしました。

「社会教育活動」は、学びを通じて人と人をつなぎ、世代を超えた理解や交流を生み出す有効な手段です。地域課題を共に学び、共に考える機会を積み重ねることが、若い世代の主体的な参画につながり、将来の担い手の育成にも資するものと考えます。

本委員会では、「社会教育をいかに社会的課題の解決につなげていくか」という共通のテーマのもと、現役大学生を含む多様な立場の方々と意見交換を重ねてまいりました。それらの協議を通じて、若い世代と地域が対等な立場で関わり合い、共に地域を支えていく環境づくりの重要性を確認できました。

甲府市におかれましては、生涯学習ビジョンの理念を踏まえ、本意見書の趣旨をご参酌いただき、今後の社会教育施策の推進に生かしていただくことを期待いたします。

私たち社会教育委員も、市民の立場から引き続き学びと対話を重ね、地域コミュニティの活性化に寄与してまいります。

## 甲府市社会教育委員 委員名簿

任期 令和6年7月1日～令和8年6月30日(2年間)

	氏 名	推薦団体等
1	浅田 耕治	公募
2	雨宮 年江	甲府市民生委員児童委員協議会
3	雨宮 喜光	甲府市スポーツ協会
4	石原 三正	甲府市公立小中学校長会 (北東中学校校長)
5	伊藤 辰美	甲府市スポーツ協会
6	岩下 百合香	甲府市女性学級連絡協議会
7	大久保 一雄	甲府市自治会連合会
8	奥山 幾代子	甲府市文化協会
9	川崎 靖	青少年育成甲府市民会議
10	橘田 敏英	甲府市小中学校PTA連合会
11	剣持 秀次	公募
12	中込 敏雄	甲府市自治会連合会
13	名執 太貴	一般社団法人 甲府青年会議所
14	土屋 孝	甲府市小中学校PTA連合会
15	成澤 千香子	公募
16	樋口 千岳	一般社団法人 甲府青年会議所
17	古屋 知子	甲府市民生委員児童委員協議会
18	保坂 茂	甲府市公立小中学校長会 (相川小学校校長)
19	松澤 榮二	甲府市文化協会
20	山田 弘之	青少年育成甲府市民会議

(敬称略・五十音順)

## 甲府市社会教育委員の会議 活動経過

任期 令和6年7月1日～令和8年6月30日

日付 会場	内 容
令和6年7月26日(金) 甲府市役所 7-2会議室	第1回甲府市社会教育委員の会議 ・委嘱状交付 ・社会教育委員の役割について ・甲府市の生涯学習について ・山梨県社会教育委員連絡協議会について
令和6年10月15日(火) 甲府市役所 7-2会議室	第2回甲府市社会教育委員の会議 ・提言書の取組状況について(これからの本市公民館の役割及び将来像について)
令和6年11月22日(金) 山梨市民会館ホール	山梨県社会教育研究大会への参加 【研究テーマ】『人づくり・地域づくり』 【記念公園】「スポーツで繋がる、繋ぐ ～ヴァンフォーレの活動より～」
令和7年2月20日(木) 甲府市役所 7-2会議室	第3回甲府市社会教育委員の会議 ・提言書の取組状況について(これからの本市公民館の役割及び将来像について) 第1回甲府市放課後子どもプラン推進委員会 ・甲府市「放課後子供教室」推進事業について
令和7年5月19日(月) 甲府市役所 9-2会議室	第1回甲府市社会教育委員の会議 ・提言書の取組状況について(これからの本市公民館の役割及び将来像について) ・「若い世代と地域がつながる社会教育」について
令和7年6月13日(金) 山梨市民会館ホール	山梨県社会教育委員連絡協議会通常総会への参加 【研修】『動いてつながる、地域と人を元気にする社会教育のチカラ』 【講師】リズムオブラブ 主宰 渡辺光美氏
令和7年8月19日(火) 甲府市役所西庁舎 (旧穴切小)会議室	第2回甲府市社会教育委員の会議 ・取組事例の紹介(市民部協働推進課) ・グループワーク「若い世代が地域づくりに参画する上での課題について」
令和7年11月20日(木) 甲府市役所 8-1会議室	第3回甲府市社会教育委員の会議 ・山梨県社会教育委員の意見(山梨県社会教育課) ・グループワーク「若い世代の参加を促すための課題解決について」 「若い世代が地域づくりに参加するための方策について」
令和8年2月24日(火) 甲府市役所 4階大会議室	第4回甲府市社会教育委員の会議 ・「若い世代と地域がつながる社会教育」意見書案について 第1回甲府市放課後子どもプラン推進委員会 ・甲府市「放課後子供教室」推進事業について